

「街の力が
作品を生み出す
原動力になる」
— 平井茂雄

グランド ハイアット 東京
ペストリー 副料理長

「六本木で
『ガイコクジン』として
公演することに
意味がある」
— ブルーマン
グループ

パフォーマー

「影のイメージと
光のイメージが綾をなす、
光と影の織物のよう」
— 黒川雅之

建築家

「日本の
最先端の文化を
発信し続ける街」
— 高田万由子

タレント

「混在、混和、
多種多様」
— 北山孝雄

北山創造研究所代表

「デザインのある
社会を目指して
六本木から
発信していく」
— 谷研次

株式会社アクシス
代表取締役社長

「ゆったりとした
時間を
過ごせる場所」
— 小泉里子

モデル

「西洋文明の
聖地で
和文化を
見つめ直す」
— 田中康嗣

「和塾」世話人

「混沌。
その混沌から
生まれる
新しさ」
— 幅允孝

ブックディレクター

「異国」
— 夏木マリ

ディレクター、
プレイヤー

“Wieden+Kennedy Tokyo
is proud to be
in Roppongi.”
— ジョン・C・ジェイ

ワieden+ケネディ
グローバルエグゼクティブ・
クリエイティブディレクター

「詩の
聖地にしたい」
— 和合亮一

六本木詩人会主宰

「人と人が
つないでいく
街になって
行ってほしい」
— 内田繁

インテリアデザイナー

“Amazing!
What's next?”
— ジョン・カピラ

キャスター
ラジオパーソナリティー

「カッコイイ大人が
集まる雰囲気
を作ることが大事」
— 藤巻幸夫

株式会社藤巻兄弟社社長

「かつて
憧れだった街。
今は
クリエイター魂を
かき立てる街」
— 吉元由美

作詞家、作家

「夜のイメージから
明るいイメージに変わり、
東京のなかでも
さらに『東京』を
イメージさせる場所」
— 吉岡徳仁

デザイナー

「常にイメージや表情を
刻々と変えていく、
その変化が面白い」
— 佐藤可士和

アートディレクター

「事務所の前が
美しい花と緑になった」
— 篠山紀信

写真家

Special Feature

We Like It.

Section 1/Their Voices, Their Words.
Section 2/Roppongi, Eating & Walking Tour.
Section 3/The Connection Between The Arts and Roppongi.

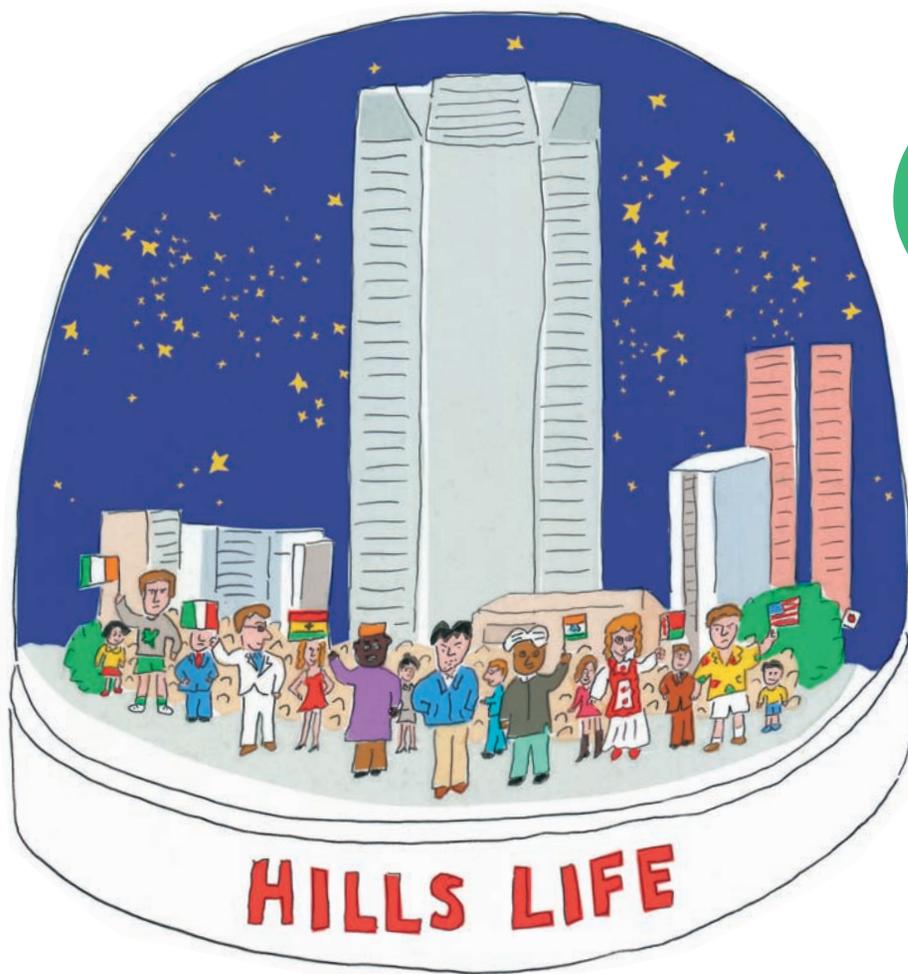


Illustration by Mizumaru Anzai

特集

六本木の感覚